

令和元年度

しあわせの里福祉会事業報告

社会福祉法人
しあわせの里福祉会

社会福祉法人 しあわせの里福祉会の事業概要

法人認可年月日 昭和56年6月16日
 法人設立年月日 昭和56年6月26日
 施設開設年月日 昭和57年4月1日
 重度棟増設年月日 昭和59年4月1日
 地域交流センター開設年月日 平成5年4月1日

1. 役員及び評議員の構成

理事長	手塚 任	理事	青木 義幸
理事	平岡 芳和	理事	山本 菊太郎
理事	楠 博孝	理事	石川 好文
理事	石川 敏子		
監事	磯部 久子	監事	好岡 繁
評議員	廣田 正則	評議員	小倉 眞穂
評議員	東山 敏雄	評議員	野口 泰延
評議員	坂東 良子	評議員	武知 忠義
評議員	永井 多美子	評議員	堤 節子
評議員	加藤 能弘		

2. 理事会の開催状況

開催年月日	開催場所	出席者数	審議事項
元. 5. 30	しあわせの里 地域交流センター	理事6名 監事1名	1) 平成30年度事業報告, 計算書類・附属明細書及び財産目録の承認(監事監査報告)について 2) 理事・監事候補者の推薦(案)について 3) 定時評議員会の開催について 4) 施設整備事業に係る土地取得について
元. 6. 18	しあわせの里 地域交流センター	理事7名 監事2名	1) 理事長の選定について 2) 業務執行理事の選定について
元. 12. 18	しあわせの里 地域交流センター	理事7名 監事2名	1) 施設長の選任について 2) 理事候補者の推薦について 3) 評議員会の開催について 4) 平成31年度(令和元年度)収支補正予算(案)の承認について 5) 鳴門市長への要望書の提出について

開催年月日	開催場所	出席者数	審議事項
2.3.18	しあわせの里 地域交流センター	理事7名 監事2名	1) 平成31(令和元年度)収支補正予算(案)の承認について 2) 令和2年度事業計画(案)の承認について 3) 令和2年度収支予算(案)の承認について 4) 施設管理規定規則の一部改正について 5) 経理規定の一部改正について 6) 補欠業務執行理事の選定について 7) 施設整備事業に係る土地取得について

3. 評議員会の開催状況

開催年月日	開催場所	出席者数	審議事項
元.6.18	しあわせの里 地域交流センター	9名	1) 平成30年度事業報告, 計算書類・附属明細書及び財産目録の承認について 2) 理事・監事の選任について
2.2.19	しあわせの里 地域交流センター	8名	1) 補欠理事の選任について

4. 従事した職員数

施設長	参与	サービス管理責任者	支援員	看護師	事務員	栄養士	パート職員	協力医	計
1名	1名	3名 (兼務)	21名	1名	3名	1名	5名	1名	34名

5. 平成31年度(令和元年度)事業実績

(1) 地域共生社会の実現に向けて

関係機関や地域住民との連携強化を図り、社会福祉法人としての公益性・非営利性を積極的に発信し、地域社会に貢献するための取り組みを実践してきました。

(2) ガバナンスの確立

社会からの信頼を高めるよう、経営組織のガバナンス強化に取り組みました。

(3) 利用者サービスの充実

良質なサービスの提供に努めると共に、安全に配慮した生活環境の整備を行いました。

(4) 人材確保と処遇改善

多様な働き方の求人を行い人材確保に努めました。また、適正な人事管理と労務管理により安心して働ける職場を目指し職員の定着を促しました。

(5) 危機管理への取り組み

利用者の高齢化、重度化に伴う事故のリスクへの対策や、感染症予防対策の体制強化に努めました。

6. 苦情解決体制

苦情受付担当者	片山明美	(しあわせの里次長)
苦情解決責任者	石川敏子	(しあわせの里施設長)
第三者委員	磯部久子	(しあわせの里福祉社会監事)
第三者委員	好岡繁	(しあわせの里福祉社会監事)

今年度は、利用者や家族等からの苦情はありませんが、利用者から日常生活上の相談や要望が数件あり、これに迅速かつ適切に対応しました。

障害者支援施設「しあわせの里」の事業概要

I 利用者の状況

しあわせの里は、平成23年4月1日に、障害者自立支援法の新体系（生活介護、施設入所支援）に移行しました。

在園者数については、令和2年3月末現在、施設入所支援を伴う生活介護を利用している方は49名（男性34名、女性15名）、生活介護を単独利用している方は5名（男性5名）となっています。

市町村別状況については、6市4町に及んでいます。障害者総合支援法の成立に伴い、これまでも増して各市町村との緊密な連携及び連絡・調整が欠かせないものとなっています。

※以下の表内における種別に関して、施設入所支援を伴う生活介護は「施+生」と、生活介護単独は「生活」と表記します。

○市町村別入（通）所者状況

種別	性別	市町	徳島市	鳴門市	小松島市	阿南市	吉野川市	阿波市	藍住町	板野町	北島町	石井町	那賀町	東みよし町	合計
		施+生	男性	13	7	2	2	1	3	3	1	0	1	1	0
	女性	4	2	0	3	1	1	1	2	0	1	0	0	0	15
	計	17	9	2	5	2	4	4	3	0	2	1	0	0	49
生活	男性	1	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	5
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	5
合計		17	9	2	6	2	4	7	3	0	2	1	0	0	54

- ※11月 男性利用者1名 施設変更で退所
- 12月 女性利用者1名 入院中に死去のため退所
- 12月 男性利用者1名 月2回程度 生活介護単独利用
- 2月 女性利用者1名 施設変更で退所
- 3月 男性利用者1名 生活介護単独利用から施設入所支援も利用
- 3月 男性利用者1名 他施設より入所

施設入所支援を伴う生活介護利用者の方の平均年齢は、男性49.8歳、女性53.3歳で女性が男性より平均年齢が上回っています。50歳をこえた方が32名おり（22名が男性、10名が女性）、そのうちの男性4名、女性4名は還暦を過ぎ、高齢者に対する配慮や支援方法等にも工夫が求められています。

○年齢状況

種別	年齢 性別	18歳	26歳	31歳	36歳	41歳	46歳	51歳	56歳	61歳	66歳	合計	平均
		25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳			
施+生	男性	3	0	0	2	5	4	11	6	2	1	34	49.8
	女性	0	2	0	1	1	2	4	1	0	4	15	53.3
	計	3	2	0	3	6	6	15	7	2	5	49	50.9
生活	男性	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5	31.0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5	31.0
合計		6	2	0	3	7	7	15	7	2	5	54	49.6

施+生	最低年齢		最高年齢	
	男性	22歳	男性	71歳
	女性	29歳	女性	75歳

生活	最低年齢		最高年齢	
	男性	24歳	男性	49歳
	女性	歳	女性	歳

施設入所支援を伴う生活介護利用者の方については、療育手帳の判定では、A-48名（男性33名、女性14名）、B-1名（女性1名）となっています。

また、49名が20歳を超えており障害基礎年金を受給しています。1級-47名（男性33名、女性14名）、2級-2名（男性1名、女性1名）です。

生活介護単独利用者の方については、療育手帳の判定は5名（男性5名）全員がAとなっています。障害基礎年金は5名（男性5名）が1級を受給しています。

知的発達の障害だけでなく、身体障害や視力障害など、多くの障害や特徴を有しています。

○障害の特徴

種別	内容 性別	肢体不自由	自閉性障害	統合失調症	視力障害	聴力障害	てんかん	ダウン症	代謝障害	脳性マヒ	脳炎後遺症	合計
		入所部	男性	4	15	1	4	2	14	2	1	
	女性	1	7	1	2	1	7	1	0	1	0	21
	計	5	22	2	6	3	21	3	1	4	0	67
通所部	男性	0	3	0	0	0	4	0	0	0	1	8
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	3	0	0	0	4	0	0	0	1	8
合計		5	25	2	6	3	25	3	1	4	1	75

身体障害者手帳を交付されているのは、施設入所支援を伴う生活介護利用者の方については5名（男性5名）です。

生活介護単独利用者の方については、現在は身体障害者手帳を交付されている方は在籍していません。

在園期間状況では、施設入所支援を伴う生活介護利用者の方で、満38年の者（開園当初からの利用者）が13名（26.5%）、生活介護単独利用者の方では20年以上の者が2名（40%）で、10年未満の者が3名（60%）になっています。

○在園期間状況

種別	在園期間 性別	在園期間						合計
		3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年以上	
施+生	男性	2	0	2	2	4	24	34
	女性	0	1	1	2	1	10	15
	計	2	1	3	4	5	34	49
生活	男性	1	0	2	0	0	2	5
	女性	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	2	0	0	2	5
合計		3	1	5	4	5	36	54

利用前状況としては、施設入所支援を伴う生活介護利用者の方、生活介護単独利用者の方ともに支援学校を卒業して利用するケースが多いようです。

○利用前状況

種別	前状況 性別	利用前状況						合計
		家庭	支援学校	入所支援施設	通所支援施設	入所児童施設	その他	
施+生	男性	1	10	7	8	8	0	34
	女性	4	3	0	1	4	3	15
	計	5	13	7	9	12	3	49
生活	男性	1	2	0	2	0	0	5
	女性	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	2	0	2	0	0	5
合計		6	15	7	11	12	3	54

Ⅱ 利用者の方に対する支援と活動

人権尊重と権利擁護を支援の基本に位置付け、利用者の方の主体性や意思を最大限尊重し、その人らしい暮らしができるよう利用者の方の目線や立場に立った継続性と一貫性のある支援と長期的な展望を見据えた支援を行いました。

利用者の方の人権に対する意識を強化するため、虐待に関する自己チェックや人権研修を定期的に行い、利用者の方の意見や要望を反映したサービスを提供しました。

さらに、利用者の方の行動特性やコミュニケーション方法を把握し、個々に適した環境を配慮し、効果的な支援方法の構築と実践により、落ち着いた日常生活が送れるように支援しました。高齢の利用者の方に対しては認知機能や身体機能を維持するための支援を行い、趣味を楽しむ活動や潤いのある生活を提供しました。

1. 生活介護（日中活動支援）

利用者の方の心身ともに健康で、豊かな生活が送れるよう支援マニュアルに基づき本人の個性に適したサービスの提供に努めました。また、利用者の方の障害特性を踏まえ、創作活動、生産活動、文化・サークル活動を提供すると共に、運動、創作、音楽療法等の機会を積極的に作り、体力や身体機能の維持増進と、心のやすらぎが保てるように努めました。地域住民との交流や社会活動への参加を積極的に支援し、地域社会との関係を維持、拡充できるように努めました。

具体的な支援については次のとおりです。

(1) 日 課

<月曜日～金曜日>

	9:30	9:45		12:00	13:15		16:30	
	登	活	テ	昼	活	(入	退	
	所	動	ィ	食	動	浴	所	
			ー	休)		
			タ	憩				
			イ					
			ム					

<半日土曜日>

	9:30	9:45		12:00			16:30	
	登	活	テ	昼	自	テ	退	
	所	動	ィ	食	由	ィ	所	
			ー		活	ー		
			タ		動	タ		
			イ			イ		
			ム			ム		

(2) 食事及び入浴

昼食に関しては、バイキングや選択方式、また、少人数で自分のペースに応じ食事をする「Aランチ」を実施しました。また、入浴は2か所の浴室を利用し、ゆとりある安全な入浴支援を行いました。

○ バイキング

利用者の方の嗜好調査に基づき、人気の高いめん類、カレーライス等、利用者の方の希望に添っ

たメニューを中心に取り入れました。バイキングは月1回、季節が感じられる食材も取り入れるなど、楽しい食事になっており、ゆっくり食べられると好評です。

○ Aランチ

男子職員1名と特別な支援や配慮を要する利用者の方を対象に、必要に応じた食事支援を行っています。また、対象となる利用者の方を定期的に見直し、より充実した食事支援となるようにしています。

○ 平日の昼食

少人数でゆっくりと食事がとれるように昼食時間に幅を持たせています。食堂に入る時間を調整することで、静かな雰囲気の中で自分のペースで食事が摂れたり、個々の支援もゆとりをもって行っています。また、昼食の時間になると各自が判断して自主的に入室できる利用者の方が増えています。

(3) 日中活動

利用者の方の障害特性を踏まえ、各々の目標や目的に合わせた活動の場を提供しました。

今年度も6グループに分かれて活動し、グループ毎に工夫を凝らした生産活動や創作活動を行いました。生産活動では利用者個々の能力や特技を活かした新しい作品作りやバザーなど施設内外での販売、福祉展等のイベントにおける販売に積極的に参加しました。

また、創作活動では利用者の方の要望を随時取り入れ、活動に変化を持たせ、心に潤いが持てるように努めました。

◎ 手 芸

今年度は、新しい作品づくりが出来るよう支援しました。アクアビーズや毛糸で編んだ座布団カバー等、利用者の得意分野を活かした作品に取り組みました。

また、看護バザーや福祉展、道の駅バザーでも販売を行い好評を得ました。

販売状況は以下の通りです。

委託先・その他	主 な 作 品	売 れ 筋
夢 工 房	・刺し子 (ポーチ, 巾着, 手さげ)	刺し子の手さげ, 巾着
看 護 学 校 バ ザ ー	・アクリルタワシ, 手さげ, ポーチ, 巾着 刺し子 (手さげ, 巾着)	アクリルタワシ, 手さげ, 巾着, 刺し子作品
道 の 駅 「第九の里」	・アクリルタワシ, アイロンビーズ, 巾着, 手さげ 刺し子 (手さげ, ポーチ)	アクリルタワシ 巾着, 手さげ, 刺し子作品
障 害 者 福 祉 展	・雑巾, アクリルタワシ, 手さげ, 巾着 刺し子 (手さげ, 巾着, ポーチ)	雑巾, 巾着, 刺し子作品

参加者	男性2名, 女性5名
支援内容及びプログラム	<p>(1) 刺し子, 手さげ, 巾着, 布巾の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図柄を書く ・ 図柄に合わせた糸を選び刺す。 ・ 丁寧に刺す。 <p>(2) ビーズ作品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アイロンビーズ, アクアビーズの台に図柄通りの色を並べる。 ・ 好きな色のビーズを並べる。 <p>(3) 編み物 (アクリルタワシ, 座布団カバー製作)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 段数や目の数を間違わないように編んでいく。 ・ 好きな色の毛糸を選ぶ。
評価	編み物は, 段数や目の数を間違えないよう各々が意識し取り組んでいった。利用者の持つ特性を活かした作品作りが出来るよう支援した。新しい物に取り組み, 販売されることで励みになっている。

◎ 造花

造花は「ちぎり」, 「組み立て」, 「確認作業」を行っています。

「ちぎり」は造花材料となるパーツと, バリの部分に分けてちぎっています。「組み立て」は葉や花びら, 軸など, それぞれの部品の連結部を見本と同じになるように挿しこんでいきます。「確認作業」は「ちぎり」や「組み立て」が正確に仕上げられているか, 不良品や汚れ, ゴミが混ざっていないか確認していきます。

材料の大きさや材質により全工程に参加できる利用者の方は少ないですが, それぞれが分担し自分のできる工程に参加しました。

参加者	男性4名, 女性1名
支援内容及びプログラム	<p>○ちぎり作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製品とちぎりカスに分けて正確にちぎる。 ・ ちぎり残しやカスが混じっていないか確認する。 ・ ゴミの混入やホコリの付着, 不良品がないか確認する。 <p>○組み立て作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正確な組み立てを行うと共に, 多く仕上げていく。 ・ 床に落とすことやゴミの混入がないよう適量の材料補充を行う。 ・ 準備, 片付けを自主的に行う。 <p>○確認作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 正確な組み立てができているか, 汚れや不良品がないか, ごみ等が付着していないか再確認する。 ・ 最終確認, 数量, 袋詰めに関しては, 必ず職員が行う。 <p>○清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミやホコリの混入がないよう, 作業開始前には机を拭き, 終了時に机を拭き, 掃除機がけを行う。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい材料が納品されるのを楽しみにしており, 作業に対して意欲的に取り組んでいる。 ・ 利用者の方も材料の汚れや不良品を理解し, 気がつけば除いてくれる。 ・ 利用者それぞれができる工程を取組ながら細かい作業が苦手な利用者の方も積極的に挑戦し取り組む姿が見られている。

◎ 園 芸

実習地での野菜や花の植え付け、栽培、収穫を支援員と一緒にいき、収穫物を家族会等で販売しました。また、収穫した野菜を使って調理実習を行いました。

参 加 者	男性8名
支 援 内 容 及 プ ロ グ ラ ム	<ul style="list-style-type: none"> ○園芸作業 <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備，耕運，畝作り，マルチ掛け，施肥，支柱立て，水やり，堆肥作り ・除草，生育管理，収穫 ・種まき，植え付け（苺，ピーマン，キュウリ，茄子，オクラ，スイカ，ホウレン草，ミズナ，ズッキーニ，ブロッコリー，キャベツ，ニンニク，ミョウガ，玉葱，トマト，サツマイモ，ジャガイモ，大根，カブ，枝豆，スナップエンドウ等） ・花壇の管理（除草，水やり，施肥，移植） ・種まき，植え付け（ヒマワリ） ○屋外活動 <ul style="list-style-type: none"> ・園外歩行，樹木の剪定，園庭整備，園庭土入れ ○屋内活動 <ul style="list-style-type: none"> ・収穫物の調理，肥料作り
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より新しく1名の利用者が参加する。発作による転倒の恐れがあるため，複数の支援員で付き添いのもと実習地に出ることで園芸活動に取り組んでもらえるよう支援した。 ・野菜の植え付けから収穫までを行い，販売や収穫した野菜を調理して食べることで園芸への楽しみややりがいを感じられるよう支援した。 ・堆肥入れやマルチ張り等の除草作業以外でも利用者の方に応じた作業に取り組んでいる。 ・園庭の端をトマトハウスとして活用。収穫したての野菜を利用者の方に食べてもらった。 ・近隣の保育園児さんとの交流については，ジャガイモは予定通りに行えたが，サツマイモは不作により実施することができなかった。

◎ 加 工

近隣の野山や川原で採取した材料や，保護者の協力により集められた材料を加工して「よもぎ」「どくだみ」「みかん」の入浴剤づくりに取り組みました。

参 加 者	男性5名，女性1名
支 援 内 容 及 プ ロ グ ラ ム	<ul style="list-style-type: none"> ○よもぎ入浴剤づくり <ul style="list-style-type: none"> ・よもぎの採取，陰干し ・裁断，天日干し ・選別，粉碎 ・計量，バック詰め，シーリング（口止め），袋詰め ・外装，カード印刷 ○どくだみ入浴剤づくり <ul style="list-style-type: none"> ・どくだみの採取，陰干し ・裁断，乾燥，粉碎 ・計量，バック詰め，シーリング（口止め），袋詰め ・外装，ラベル印刷 ○みかん入浴剤づくり <ul style="list-style-type: none"> ・果皮を乾燥し粉碎 ・計量，バック詰め，シーリング（口止め），袋詰め ・外装，ラベル印刷 ○ゆず入浴剤づくり <ul style="list-style-type: none"> ・提供して頂いた材料の分別，洗い，乾燥，粉碎，シーリング（口止め）

支援内容及びプログラム	○ウォーキング ・材料採取を兼ねて近隣を歩いた。 (板東谷川, ドイツ村公園, リューネの森など)
評価	・それぞれの利用者の方が, 入浴剤づくりの工程の中で多くの工程に取り組むことにより, 技術の習得と意欲の向上を支援した。 ・生産した入浴剤は, 各種バザーや「道の駅」「夢工房」で販売するとともに, 自治会への提供や施設内でも定期的に使用している。

◎ 総合生活支援

利用者の方一人ひとりのニーズに応じたプログラムでの支援を行いました。

地域交流センター多目的ホールを利用しました。

参加者	男性12名, 女性3名
支援内容及びプログラム	○屋外活動 ・歩行……ドイツ館, ドイツ村公園, 大麻比古神社, 菩提樹の森, ばんどうの鐘, リューネの森公園, 極楽寺, 板東谷川堤防 ・ドライブ……ウチノ海公園, 鳴門スカイライン, 鳴門公園, 妙見山, 板野歴史文化公園, あすたむらんど徳島, 月見ヶ丘海浜公園 ○屋内活動 ・ホール内歩行, 階段昇降, マッサージ, ストレッチ, ラジオ体操, キャッチボール, トンネルくぐり, バランスボール等の身体活動 ・各種教材……ペグ, ブロック, パズル, 文字書き, ビーズ通し, 絵描き, ぬり絵, シールはがし, 貼り絵等 ・エコ活動……広告・新聞の箱折り ○清掃活動 ・園周辺道路のゴミ拾い, 清掃 ○生活支援 ・身支度……靴, 帽子, 上着の着脱, 整理整頓, 収納 ・清潔……手洗い・消毒, 着替え ・排泄……排泄の支援, 記録 ・環境整備……活動の準備, 片付け, 清掃
評価	・屋外活動では, 基礎体力・脚力の維持や強化を目標とした長距離グループは, 階段昇降や坂道を含むコースを状況に応じて実施した。短距離グループは地域周辺の草花を楽しみながら身体を動かす楽しさや心地良さ, 身体機能の改善が図れるように実施した。また, 気分転換や安定を図るためドライブも実施する。 ・屋内活動では, いろいろな音楽をかけながら楽しい雰囲気の中でホール内歩行, ストレッチ, キャッチボール, バランスボール等の自己の身体に応じた運動や間仕切り壁を設置し, 文字書き, 塗り絵, パズル, 貼り絵等の個々の活動に応じた空間を提供して個別支援を行った。 ・エコ活動として, 広告や新聞を利用しての箱折りを行う。日常生活の中で実際に使用されているのが励みとなっている。

◎ なごみ

地域交流センター1階ラウンジで様々な活動内容を用意し, 得意なことに取り組めるよう行っています。

参加者	男性7名, 女性5名
支援内容及プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ○屋内活動（各種教材） <ul style="list-style-type: none"> ・ペグ, ブロックつなぎ, パズル, 文字書き, ビーズ通し, 絵画, 塗り絵, ちぎり絵等 ○編み物（アクリルタワシ, リリアン） <ul style="list-style-type: none"> ・毛糸の色を選ぶ。 ・編み目を数えて作る。 ・編み目を落とさないように編む。 ○花壇づくり <ul style="list-style-type: none"> ・苗植え, 種まき, 土入れ ・ペットボトルに水を入れ, 園庭の花に水をやる。 ○運動 <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング（ドイツ村公園, ドイツ館） ・室内歩行, 階段昇降 ・足の運動, 阿波踊り体操 ○足浴（冬） <ul style="list-style-type: none"> ・体を温め, 保湿クリームでマッサージをして血液循環を良くする。 ○各展示会の見学 （しあわせの里展, エナジー展, 鳴門市文化展）
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた雰囲気の中で, 個々の得意なことに集中して取り組むことができた。天候の良い日には近隣の散歩も行った。 ・園内での環境づくりや, ちぎり絵での共同作品も出展することができた。活動参加を楽しみにし, 熱心な取り組みができており, 今後も得意なことを活かして活動ができるよう支援していく。

◎ 作業工賃の支給

作業収益金は全額還元を原則としています。今年度は2,600円を全利用者に支給しました。

(4) 文化・サークル活動

ボランティアや地域の資源を活用し, 豊かで潤いのある時間が過ごせるような支援を行いました。自分に興味があるサークルでボランティアの方と交流, 経験を重ねることで技術面や精神面の成長だけでなく, それぞれの利用者の方にとって生きがいとなっています。

◎ スポーツ

毎週水曜日の午前中に, 地域周辺（ドイツ村公園, 極楽寺, 大麻比古神社等）のウォーキングを実施しました。雨天時には地域交流センターでストレッチ運動, フライングディスク, ペットボトルボーリングを実施しました。基本的な練習から試合形式での個人戦やチーム戦を2～3ゲーム行いました。

指導者	支援員7名
参加者	男性11名, 女性1名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○基本練習（フライングディスク, ペットボトルボーリング） <ul style="list-style-type: none"> ・個人練習 正確にディスクやボールを投げる練習

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○試合形式（フライングディスク、ペットボトルボーリング） <ul style="list-style-type: none"> ・競技（個人戦） 競技内でのマナー，ルールを理解，お互いに応援，励まし合えるチームづくり 競技していく上での自主的な行動力の育成 ・競技（団体戦） チームワークの大切さ，助け合いの精神の育成 ○ウォーキング 心身機能・脚力の維持，強化
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方が，積極的に競技に参加できるよう支援した。事前に基本練習を行い，ルールやマナーを習得し技術の向上や楽しみながら取り組んだ。また，用具の準備や片付けは全員で行うように心がけた。 ・フライングディスクやペットボトルボーリングに関しては，団体戦を取り入れ，チーム内で声を掛け合い，協力や信頼の大切さを学ぶことができた。 ・ウォーキングを実施するときには，参加利用者に配慮した歩行距離や目的地を選定し，達成の楽しさを味わってもらえるよう支援した。

◎ 生 花

毎月第2・第4木曜日にボランティアの先生の指導を受け，のびのびと生けています。

指 導 者	坂東 良子氏
参 加 者	男性2名，女性1名
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 準備（花器，花ばさみ，筆記用具等） 2. 組花，花器の選択 3. 挨拶 4. 花を生ける（はさみの使い方を知る，花の高さ，位置を考える） 5. 復習（花の名前の筆記，生けた花の筆記） 6. 片付け，清掃 7. 挨拶，終了
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの先生のご指導のもと，四季折々の花材を使用し，花の名前を書き覚えながら，個々の自由な発想を尊重し感性豊かに生けている。 ・完成した色とりどりの作品を園内に飾り，利用者の方や職員だけでなく，訪れる方にも楽しんでもらっている。

◎ 茶 道

毎月第2・第4木曜日にボランティアの先生のご指導を受け茶道の稽古を行っています。

指 導 者	坂東 良子氏
参 加 者	男性1名，女性4名
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 席入り（おじぎの仕方，歩き方） 2. 挨拶 3. 略式盆点前のお稽古 4. ふくささばき 5. なつめの扱い方 6. お茶の点て方

内 容	7. お茶菓子の頂き方 8. 薄茶の頂き方 9. 退室（おじぎの仕方, 立ち方, 歩き方） 〈お茶会〉 9月 月見のお茶会 1月 新年のお茶会
評 価	・和みの時間として実施しているが、熱心にお稽古に取り組んでおり、お作法も上達している。季節のお茶会では利用者の方や職員の方にもお点前を披露したことで自信にもなった。 ・正座ができない利用者の方が多くなり、体に負担がないよう立礼式で椅子に座りお稽古をすることで集中することができた。

◎ 習 字 ①

毎週水曜日にボランティアの先生のご指導のもと、習字の練習に励んでいます。

指 導 者	山田 準一氏
参 加 者	男性1名, 女性2名
内 容	・準備, 後始末の方法 ・正しい姿勢と筆の持ち方 ・筆の扱い方 ・漢字の読み方, 筆順 ・字形の取り方 ・字の持つ意味
評 価	利用者の方に合わせたお手本で基本の文字の練習に励んでいる。筆の持ち方や書くときの姿勢, 書き始め, 止め, はらい, 線の太さ等に意識し書いている。上手く書けた時は、先生から丸や励ましの言葉を頂けた。作品は各種展示会やしあわせの里展に出展している。見学の際に他作品を見て刺激を受け、作品作りへの意欲を高めることが出来た。また、先生の習字作品を拝見することや様々なお話を聴かせて頂くことも楽しみの一つになっている。

◎ 習 字 ②

季節に合わせた言葉等を利用者の方の個性を生かした字体で書いて楽しんでいます。

作品展の前に職員と一緒に習字を楽しんでいます。

参 加 者	男性3名, 女性5名
内 容	・準備, 後始末の方法 ・正しい姿勢と筆の持ち方 ・筆の扱い方 ・漢字の読み方, 筆順 ・字形の取り方 ・字の持つ意味
評 価	個性を生かした字体の作品を書く習字を行っている。季節の言葉や好きな食べ物など、思い思いの言葉を文字にした字体は味があり躍動感あふれている。作品は各種展示会等に出展しており、見学された方から好評である。今後の作品作りの意欲向上につながっている。メンバー以外からも習字がしたいとの要望が出ている。

◎ 絵 画

月2回、木曜日の午前中に町内の絵画教室に通い、水彩画を中心に、パステル画、アクリル画などを描いています。

指 導 者	河野 公子氏
参 加 者	男性5名, 女性1名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・画題 静物（花, 野菜, 果物, 置物など） 抽象画 人物画 模写（画集や絵本, 写真を見て描く） ・発表の場 エナジー展, 鳴門市展, 鳴門市文化展, 大麻町文化展, スローリーライブ・ユニバーサル芸術祭, 鳴門市人権文化祭など。 ○「しあわせの里展」9月4日～6日 ヨンデンプラザ徳島 2階よんでんギャラリーにて開催 ・展覧会の見学
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方の個性を尊重した指導方針により, のびのびと楽しく描くことで, 個性的な作品が描けている。 ・各種展覧会の見学に出かけることで, 社会参加の機会が持てるとともに, 他の人の作品を鑑賞することで創作活動への意欲を増すことができた。 ・今年度より新たに利用者の方が3名参加することにより, 多くの作品を創作することが出来た。

◎ 調理実習・おやつ作り

9名のメンバーが2人ずつのグループに分かれて調理実習を行い, 調理・食事を楽しみました。

また, 季節や行事に合わせて手作りおやつを一緒に作り盛り付け提供し, 利用者の方全員に食べていただきました。

参 加 者	男性4名, 女性5名
内 容	<p>4月 (献立) おにぎり・お好み焼き・ハムサラダ・コーンスープ・イチゴババロア</p> <p>5月 (献立) ハヤシライス・ハンバーグ・ツナサラダ・プリン</p> <p>6月 (献立) オムライス・ハムサラダ・オニオンスープ・白玉入りフルーツポンチ (おやつ) フライドポテト</p> <p>7月 (献立) パンケーキ・海藻サラダ・コーンスープ・コーヒー (おやつ) 人参蒸しパン</p> <p>9月 (献立) カレーピラフ・生春巻き・マーボー豆腐・コーンスープ・プリン</p> <p>10月 (献立) カレーうどん・ポテトサラダ・プリン (献立) サンドイッチ・肉じゃが・コーンスープ・コーヒーゼリー (おやつ) さつまいもホットケーキ</p> <p>12月 (献立) おにぎり・カレー鍋・チョコアイス (おやつ) アップルパイ</p> <p>1月 (献立) 水ぎょうざ鍋・雑炊・ビール</p> <p>2月 (おやつ) 小倉蒸しパン</p> <p>3月 (おやつ) ひな祭りロールケーキ</p>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで希望したメニューを一緒に作ることで, 作る楽しみ, 食べる楽しみを普段の給食では味わえない感覚を持ちつつ取り組む事ができた。 ・園で採れたジャガイモやさつまいも, 保護者からの頂き物でおやつ作りをし, 利用者の方全員で味わう事ができた。

◎ 音楽活動

ミュージックケアを通じた音楽活動を実施し、音楽に親しみました。

【ミュージックケア】

参加者	全体利用者を対象とし、一回セッションで10～20名の利用者が参加
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一回のセッションは一時間程度 ・ミュージックケアの基本曲やその他の曲を使用しプログラムを立てる ・使用している楽器や道具 楽器……鈴、鳴子、タンバリン、太鼓、バチ その他の道具……フラップバルーン、チューブ、スカーフ、ボール、シャボン玉、 レインスティック ・うたをうたう
評価	実施回数が多く持てなかったが、季節を感じたり好きな曲と一緒に歌い演奏することで達成感や満足感を持つことが出来たり、楽しいひとときを共有することができるよう実施した。

◎ 文化

毎月第1・第3木曜日にメンバーを選出し、活動しました。

参加者	女性7名（内容により他の利用者の方も参加）
内容	・カラオケ ・作品づくり
評価	<p>カラオケは、メンバー以外の利用者の方も参加してもらい、皆さん楽しく歌うことができた。</p> <p>作品作りは、利用者の方が描いた絵を使い行事用の壁紙や、活動場の環境用壁紙をメンバー以外の人も協力して製作していった。</p>

○ 年間行事等への参加状況

月別	行 事 名
4 月	・開園記念昼食会 ・草の実祭り見学
5 月	・春期帰省 ・鳴門市文化展 ・ノーマピックススポーツ大会 ・ニスハートふれあいスポーツ広場 ・板東小学校運動会 ・鳴門市チャレンジデー
7 月	・七夕 ・キャンプ
8 月	・夏祭り ・夏期帰省 ・ドイツ兵慰霊碑建設 100 周年記念献花式
9 月	・しあわせの里展 ・月見のお茶会 ・日帰り旅行 ・ワークショップ
10 月	・鳴門市展 ・エナジー2019 ・道の駅バザー ・東徳島看護バザー ・鳴門看護バザー ・大麻地区社協交流ウォーク ・賀川豊彦記念館チャリティーウォーク
11 月	・ゆうあいスポーツ四国高知大会 ・大比古神社祭り見学 ・一泊旅行 ・大麻町文化作品展 ・板東小学校人権集会 ・鳴門市人権文化祭 ・鳴門友愛会チャリティーウォーキング ・日帰り旅行
12 月	・鳴門市障がい者（児）スポーツレクリエーション ・ユニバーサル芸術祭 ・クリスマス食事会 ・冬期帰省
1 月	・新年のお茶会
2 月	・徳島市障害者福祉展 ・節分（豆まき）
3 月	・ひなまつり ・一年のまとめ（ふれあい昼食会）

2. 施設入所支援（夜間、休日支援）

生活の場として、より安全で快適な環境の提供に努めました。また、集団生活の秩序を維持しながらも可能な限り利用者の意思を尊重するとともに、家庭的な雰囲気の中で安心してゆとりのある生活ができるように配慮しました。さらに、個々に合わせた食事・快適な入浴・安全な移動・プライバシーに配慮した排泄・安全で快適な環境等、年齢や障害特性を考慮した日常生活上の支援を行いました。また、夜間においては、十分な睡眠が取れるようやすらぎの空間を確保するとともに、利用者の方の心身の変化にも細心の注意を払いました。

今年度、むつみ棟の各居室にテレビを追加設置し、年齢や思考に応じた余暇が過ごせるようにしました。また、感染症予防のため、各居室に加湿器を設置しました。

(1) 日 課

<平 日>

	6:30	7:40	8:30	9:45		16:30	17:40		21:00		
就 寝	起床・ 支度	朝 食	職員 朝会 ふれ あい	生活介護 (日中活動支援)		清 掃 ふれ あい	夕 食	自由 時間	ティ ー タ イ ム	自由 時間	消 灯 就 寝

<休 日>

	6:30	7:40	9:45	12:00	15:00	17:40		21:00						
就 寝	起床・ 支度	朝 食	職員 朝会 ふれ あい	自由 時間	昼 食	自由 時間	ティ ー タ イ ム	清 掃	自由 時間	夕 食	自由 時間	ティ ー タ イ ム	自由 時間	消 灯 就 寝

(2) ゆとりある生活のための支援

① 食 事

セルフランチ

毎日の食事はセルフサービスの形式で利用者の方を3グループに分け、ゆとりある空間で食事ができるよう配慮しています。

② ゆとりとやすらぎ

<1> かたらい

毎週土曜日、男性2名または女性2名の方が本人の希望により、「かたらい」を実施しています。PM9:00～PM11:00までの間、談話室を利用しテレビを見たり、事前に自分で購入した飲み物やお菓子で楽しいひとときを過ごしています。参加希望者も増えており、利用者の方は毎月「かたらい」の予定が発表されるのを楽しみにしています。

〈2〉 やすらぎティータイム

毎月1回、午後におやつとお茶のティータイムを設けています。利用者の方が食べたいおやつを買ってきたり、手作りのおやつを用意したりしてティータイムを行っています。当日は、好きな飲み物を入れ、テレビを見たり音楽を聴きながらゆったりとしたひとときを楽しんでいます。

〈3〉 移動訪問販売利用

毎月1回、パンの移動訪問販売を利用しています。それぞれが好みのパンを選び購入し、ティータイムを楽しんでいます。

〈4〉 誕生会

毎月、その月の誕生日の利用者の方をケーキと飲み物を用意したティータイムを開きお祝いしています。皆さん、誕生月が来るのを楽しみにしています。

〈5〉 余暇の提供

個々の希望に応じた雑誌やDVD、CD、パズル、塗り絵などを購入して余暇時間を過ごしています。また、録画したTV番組を見たり、カラオケをしたりして充実した余暇が過ごせるよう配慮しました。それぞれの方が楽しめるような内容の余暇を考え、提供しています。

(3) 社会性を広げるための支援

○ 余暇活動

利用者の方の希望をききながら、都度外出を計画し、少人数で実施しました。

参加者	利用者 50名
内容	※回数・参加人数（延べ数） ・ドライブ……31回，122名 ・喫茶，食事……32回，110名 ・ショッピング……27回，97名 ・その他……38回，89名
評価	外食，ドライブ等の希望が多く，それ以外にも美容院利用，作品展見学，墓参り，動物園，水族館，苺狩り，温泉等の外出やクリスマスイルミネーション見学，阿波踊り見学等の希望があった。希望や目的に沿った外出を実施することで気分転換を図り，生活にも潤いを持つことができた。

3. 健康管理と保健活動

日々の検温と日常生活の観察を通して、個々の健康状態の把握に努めました。

日常的な感染予防対策として、手洗い・うがい・手指消毒・棟内消毒清掃を実施することで、インフルエンザ・ノロウイルスなど感染症の予防、蔓延防止に努めました。

(1) 健康診断の実施

健康診断、各種検診を計画、実施し、疾病の早期発見に努めました。

また、口腔の不衛生により、様々な疾病や感染症などにもつながっていくこともあるので、口腔ケアの必要性・重要性を考え、定期的な歯科検診・歯科医師会による診療バスでの巡回健診、歯科衛生士によるブラッシング指導を実施しました。

(2) 各疾病の治療

慢性疾患の利用者については、定期的に受診し検査を受ける事で、疾病の状況を把握することができています。医師による生活指導や医療相談を通し、協力医とスムーズに連携を図ることができました。

残念ながら今回は胃腸炎が蔓延してしまいましたが、早期対処・職員皆の協力により、全員1～2日で完治する事ができました。

(3) 環境衛生と保健指導

日頃からの手洗い・うがい・手指消毒の励行に努め、必要に応じてマスクの着用を行っています。

また、園内外・居室の清掃や消毒、季節に応じた衣類交換、寝具干し等、基本的な日常生活の環境衛生を心がけました。

(4) 生活習慣病対策

定期的に体重測定や血圧測定を行い、また、必要に応じて血液検査を受ける事により、栄養状態や健康状態を把握し、医師や栄養士と相談・指導の下、生活習慣病の予防に努めました。

(5) 保護者との連携

継続的に服用中の内服変更時は、速やかに情報提供を行い、理解が得られるように努めています。場合によっては、協力医から直接説明をしてもらう事もあります。

また、保護者からの薬についての質問には、医師や薬剤師に問い合わせたりしながら、早急に折り返し説明を行いました。

精密検査が必要な場合は、利用者・保護者に対し十分に説明を行い、共に通院に付き添ってもらうことにより、直接医師の説明を聞いたり質問をする事で、連携や協力を得ることができました。

○ 月別通院状況

科	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科		10	4	1	18	6	1	21	14	9	18	19	20	141
精神・神経科														
外科		1	1	1				1					2	6
整形外科		2	1	2		2	1	1			3			12
耳鼻咽喉科					1	1	1	1						4
歯科		19	14	9	17	19	9	20	22	6	17	11	10	173
婦人科			1			1					1			3
眼科		1	3			1	1	1	1			2		10
皮膚科		1	1	1					1		1			5
泌尿器科		3						3						6
その他		2	2	2									1	7
計		39	27	16	36	30	13	48	38	15	40	32	33	367

○ 月別保健活動

4月	園内検診	10月	園内検診
	細菌検査		細菌検査 ×2
	歯科検診		
5月	園内検診	11月	細菌検査
	細菌検査		インフルエンザ予防接種
	害虫駆除		
6月	皮膚科検診	12月	園内検診
	園内検診		園内検診
	細菌検査 ×2		細菌検査
	眼科検診		棟内消毒
	害虫駆除		
7月	園内検診	1月	園内検診
	健康診断		細菌検査
	耳鼻科検診		棟内消毒
	細菌検査 ×2	2月	園内検診
	内科検診		
8月	細菌検査 ×2	3月	細菌検査
	園内検診		棟内消毒
9月	園内検診	3月	園内検診
	細菌検査 ×2		細菌検査
	ブラッシング指導		棟内消毒

○ 入院治療

医療機関名	病名	入院期間
南海病院	歩行状態が悪化した為	H31.4/19~R1.7/16
南海病院	適応障害	R1.7/16~9/25
南海病院	適応障害	R1.10/29~R2.1/15
中央病院	骨折による手術の為	R1.10/4~11/5
稲次病院	リハビリの為	R1.11/5~12/20
南海病院	適応障害（12/22死去）	R1.11/22~12/22
東徳島医療センター	肺炎の為	R2.3/25~3/31

4. 栄養管理と食生活

利用者の方の身体状況や生活習慣等を把握し、栄養状態の維持や改善を図りながら、これらに考慮した食事の提供と栄養管理ができるように努めました。

(1) 献立作成

利用者の方の嗜好に合わせながら季節感や彩りを考慮し、適切なエネルギー量及び各種栄養素を満たした献立を給食委託業者と共に作成しました。さらに、強化米を使用することで、不足しがちなビタミン・鉄の強化にも努めました。

また、献立名や主な栄養成分を記載した献立表を掲示して、食に関する情報を利用者の方へ提供しました。

(2) 調理業務と食材の管理

調理開始時間や調理器具、食材の検収、保存食等の管理を正確に実施し、給食委託業者との日々の連絡を密にしながら安心して安全な調理業務を依頼しました。

(3) 衛生管理

食中毒等の給食事故防止のため、調理従事者の衛生意識の向上や拭き取り検査、厨房内外の衛生管理を徹底し、衛生管理マニュアルに基づいた点検表の記録の整備も確実に行いました。

(4) 個別食事サービスの提供

医師の指示による食事箋を基にした療養食や、個々のニーズに応じて食事量の調整やアレルギー食、咀嚼・嚥下等口腔機能に合わせた食事形態やトロミ食、介助器具等、身体状況や特性に合わせた食事が提供できるよう配慮しました。

(5) 食事環境

時間差制を取り入れ、ゆっくりとした環境の中で楽しみながら温かい食事が摂れるよう配慮しました。

(6) 食事委員会

他職種と給食委託業者を交えた食事委員会を開催し、食事に関する諸問題を検討・改善し食環境を整備しました。また、利用者の方にも参加して意見を出して頂くことで、意見や嗜好を取り入れやすくなりました。

毎月の誕生会、週1回の選択メニュー、おやつなど利用者の方の楽しみや希望などを取り入れ食事が楽しみになる機会を増やしました。

(7) 栄養ケアマネジメント

利用者の栄養状況や特性を理解し、他職種と協働しながら栄養ケア計画に基づき、栄養管理と食事支援をすることで、利用者の方の食生活の質の向上に努めました。

令和元年度 栄養価算定表 (月別)

月	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	レチノール	V B 1	V B 2	V C	食塩	炭水化物	脂質	動物性
	g					活性量					エネルギー	エネルギー	たんぱく質
	kcal	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g	%	%	%
4	1970	76.8	55.8	635	13.3	764	2.07	1.12	117	9.1	58.9	25.5	53.3
5	1988	76.1	56.5	647	12.7	808	2.02	1.16	109	8.9	59.1	25.6	51.8
6	1921	73.8	50.9	614	12.8	772	2.01	1.12	106	9.1	60.8	23.8	53.7
7	1917	74.1	51.1	603	13.1	825	1.99	1.14	101	9.0	60.5	24.0	53.6
8	1914	74.7	51.1	621	13.2	751	1.96	1.10	109	8.7	60.4	24.0	51.7
9	1953	74.4	53.3	617	12.4	770	2.05	1.14	106	8.9	60.2	24.6	51.9
10	1974	74.7	53.9	616	11.9	763	2.06	1.13	107	8.8	60.3	24.6	53.8
11	1960	74.7	53.1	625	12.2	748	2.03	1.11	107	9.2	60.4	24.4	51.4
12	1935	74.2	52.7	617	12.7	738	1.99	1.12	110	8.9	60.2	24.5	53.1
1	1989	76.1	55.0	605	12.6	736	2.02	1.12	108	9.0	59.8	24.9	54.0
2	1896	73.9	52.4	609	12.0	727	1.90	1.14	99	8.9	59.5	24.9	52.5
3	1925	75.2	52.2	630	309.0	764	2.01	1.14	108	8.9	60.0	24.4	52.4
合計	23342	898.7	638	7439	447.9	9166	24.11	13.54	1287	107.4	720.1	295.2	633.2
平均	1945	74.9	53.2	620	37.3	764	2.01	1.13	107	9.0	60.0	24.6	52.8

令和元年度 摂 取 食 品 量 (月別)

単位：g

食品群名		月												合計	平均
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
穀類	米	208	207	209	213	201	207	211	206	200	209	204	203	2478	207
	パン	29	34	35	27	38	34	31	32	38	35	30	37	400	33
	穀類	36	26	23	36	24	39	37	39	34	37	23	28	382	32
	他・穀類	6	4	5	4	6	6	6	6	4	6	4	7	64	5
芋類	さつまいも	8	8	11	6	8	5	7	5	14	7	10	4	93	8
	じゃがいも	29	31	33	22	28	20	26	29	29	28	25	30	330	28
	他の芋類	19	26	20	28	25	31	32	30	32	34	27	25	329	27
	芋加工品	4	4	3	2	3	2	2	4	2	2	3	1	32	3
豆類	大豆製品	47	60	35	41	61	42	44	57	39	35	51	43	555	46
	他の豆類	4	5	5	3	6	8	4	9	6	9	7	6	72	6
	みそ	20	17	18	18	19	17	16	18	18	17	18	16	212	18
野菜・果実類	緑黄野菜	154	161	153	156	156	155	144	141	144	142	133	153	1792	149
	他の野菜	248	242	245	233	237	230	247	241	224	224	213	247	2831	236
	乾燥野菜	1	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	16	1
	つけもの	6	8	5	7	6	6	6	7	6	8	8	6	79	7
	柑橘類	8	8	7	5	6	7	13	14	28	27	12	10	145	12
	他の果実類	18	17	18	33	16	19	17	18	15	15	14	20	220	18
	加工品	16	10	8	4	7	8	11	9	8	10	8	8	107	9
	きのこ類	18	18	14	14	13	17	15	14	12	15	16	13	179	15
	藻類	4	5	7	4	7	5	5	5	5	6	4	4	61	5
動物性食品	魚介類	52	49	45	44	52	46	41	39	49	42	50	49	558	47
	干・缶・塩	8	4	9	14	9	10	9	6	7	8	6	9	99	8
	練り製品	15	16	15	18	20	14	18	17	17	18	19	15	202	17
	肉類	79	79	75	74	67	70	83	76	75	86	64	73	901	75
	加工品	11	11	12	8	8	11	8	8	12	10	9	10	118	10
	卵類	21	26	22	24	22	23	25	30	24	29	29	22	297	25
	牛乳	205	203	205	205	203	202	209	209	203	188	203	205	2440	203
	乳製品	3	9	7	2	4	5	8	3	8	5	7	4	65	5
調味料・油脂類	砂糖	7	7	8	7	6	7	8	8	9	9	8	7	91	8
	種実類	2	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	15	1
	油脂類	7	7	6	6	7	6	7	6	5	6	5	6	74	6

5. 地域交流

施設と地域との交流を推進し、利用者の方の生活の質の向上と安定に努め、施設のサービス機能の充実と提供・向上と地域貢献に努めました。また、地域の学校及び各種団体との交流で、施設への理解が得られるよう取り組みました。

(1) 施設プログラムへの地域の人々の参加

- 生き生き運動教室

(2) ボランティアの導入

各種の技術・技能の指導援助を受けています。

- 茶道・生け花（第2・第4木曜日）
- 絵画（月2回）
- 習字（毎週水曜日）
- 東邦テナックス労働組合徳島支部より除草ボランティア

(3) 利用者の方による社会活動及び地域行事への参加

- 道の駅バザー
- エナジー 2019 見学
- スロリーライブユニバーサル芸術祭
- 大麻地区社協交流ウォーク
- 近隣道路の除草, ゴミ拾い
- 鳴門市人権文化祭
- 一般社団法人 NICE
- チャリティーウォーク
- みんなの健康エクササイズ

(4) 福祉教育の推進

- 板東小学校運動会
- 板東小学校人権集会

6. 危機管理と防災対策

消防法や関係諸法令に基づき、しあわせの里消防計画、しあわせの里地震防災応急計画等を策定し、大規模災害や事故等から利用者及び職員の生命を守るため各種防災訓練を実施しました。

また、災害や事故を未然に防ぐように、建物・消防設備の自主点検や専門業者による保守点検や修繕に努めました。

大規模災害時における事業を継続するための計画として「しあわせの里事業継続計画」に基づき、緊急時の対応方法等について全職員に周知、防災意識の向上に努めました。

(1) 危機管理

- ① 事故等の発生について、事故報告書を作成し、発生状況や要因、対応結果等について分析、必要に応じて改善や業務の見直しを図りました。
- ② ヒヤリハット報告については、事故等の発生には至らなかったが、事故になる確率が高く、原因等について周知することでヒューマンエラーを少なくするようにしました。

(2) 防犯対策

夜間、休日等に定期的に巡回を実施し、防犯カメラ等設備と併せて不審者等への対応を図りました。

(3) 防災対策

① 防災訓練の実施

主に火災を想定した訓練を実施したが、出火場所や発生時間について異なった想定をすることで、より実効性のある訓練に努めました。あわせて非常通報装置を使用した通報訓練、救護訓練、消火訓練を含めた総合訓練を行いました。

鳴門市消防本部職員の派遣を依頼し、訓練内容や防災の心構えなどについてお話をいただきました。

地震対応訓練では、安全姿勢の保持、安全な場所への移動について、利用者・職員が再確認しながら実施しました。

月 別	訓 練 内 容	月 別	訓 練 内 容
4 月	避 難	10 月	避 難
5 月	避 難 (夜間想定)	11 月	総 合 (通報・消火)
6 月	避 難	12 月	避 難 (夜間想定)
7 月	避 難 (休日想定)	1 月	避 難
8 月	避 難	2 月	総 合 (地震・通報・消火)
9 月	総 合 (通報・消火・救護)	3 月	避 難

② 定期点検の実施

消防用設備及び非常通報装置、パッケージ型自動消火設備は保守点検契約業者による定期点検を行い、不良箇所があった場合には取替等を行いました。

また、月1回建物内外の安全点検と消防用設備等の自主点検を職員が行うことで、機能や操作方法について習得を図りました。

③ 防災教育の推進

年度当初に防災対策、安全対策、自衛消防隊等に関する文書を全職員に配布し、周知徹底を図るとともに、防災意識の高揚に努めました。

防災に関する研修会に積極的に参加し、防災力の向上に向けて取り組みました。

④ 地震対策

地震発生時の事故を防止するため、各居室の家具固定や安全に避難できるよう避難経路の確保について対応を図りました。

また、被災した際に適切な対応ができるよう生活用品や食料等の備蓄品、資機材等の整備、点検、交換を行いました。

ライフラインの途絶した場合を想定した、炊き出し訓練や各種機器の操作方法について実践を行いました。

電源が喪失した場合に、空調設備や厨房設備などの大容量電力機器が使用不能になり、生活環境の低下が想定されるため、非常用自家発電設備を新たに整備し、災害に強い施設づくりに取り組みました。

⑤ 感染症対策

新型コロナウイルス対策について、行政からの情報を周知し、パニックに陥ることなく、消毒、清掃などを行いました。

また、各種情報を参考に既存の感染症対策を強化したマニュアル等を作成し、職員に周知、保護者等への協力依頼、体制の強化に努めました。

⑥ 大規模災害時相互応援協定

大規模災害時相互応援協定に基づく法人（施設）連絡会に参加し、各法人、施設間の連携をより

一層高めるため、研修や情報交換を行い、自施設の防災力向上に努めました。

⑦ BCP（事業継続計画）について

直接的に被災した場合やライフラインの途絶により業務に支障をきたし、施設機能が十分に活用できない場合に備えて、影響を最小限に抑えて、速やかに業務が復旧できるよう必要に応じて、BCPの見直しを行ない、職員に周知しました。

7. 保護者との連携

保護者と施設が連携し、相互の理解を深め、利用者の方の立場に立った支援を行うよう努力しました。

(1) 月だよりの発行

毎月「しあわせ」を発行し、利用者の生活・活動状況、行事等について周知しました。

(2) 家族会の開催

定例家族会（毎月15日）と、その後の職員との懇談を実施し、保護者間の交流や施設との相互理解と信頼を深め、より良い利用者の方の生活向上に努めました。

○ 家族会参加状況

出席状況	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
出席者数		33名	32名	32名	32名	30名	30名	34名
出席状況	月別	11月	12月	1月	2月	3月	計	
出席者数		31名	32名	28名	中止	中止	314名（平均31名） 出席率 60.7%	

※2月の家族会は園内で感染性胃腸炎が流行したため中止。3月の家族会はコロナウイルス感染症拡大予防のため中止。

(3) 保護者研修等の実施

- ① 徳島県保護者会連合会総会
- ② 徳島県保護者会連合会北部ブロック研修会
- ③ 手をつなぐ育成会特別研修会

(4) 施設（法人）行事への協賛、参加

- ① サマーフェスタ（8月9日）
- ② しあわせの里展（9月4日～6日）

(5) 家族会単独事業の実施

園内清掃（5月16日～18日、5月22日、8月5日、11月21日 外部業者委託）

(6) 交流事業の実施

ふれあい昼食会（3月13日、食事会）

※コロナウイルス感染症拡大予防で家族会を中止にしたため、弁当のみ家族会より寄付される。

Ⅲ 職員の資質の向上と職員研修

利用者ニーズの追及と共に、それに伴う専門的な知識の獲得に努めました。強度行動障害、重度高齢化に対してより専門的な研修を行いスキルアップを目指しました。また業務改善に対しての職員研修を多く実施しコミュニケーションをとる機会を作ることで、業務の効率化、事故の軽減などに努めると共に、働きやすい職場環境づくりに対しても積極的に取り組んでいきました。また、各種実習の受け入れを積極的に行っており、社会福祉に貢献できるよう努めました。

1. 職員研修

(1) 園内研修

- ・全職員対象研修

虐待防止、危険予知訓練、高齢者支援、業務改善、強度行動障害
主任会議（調整委員会）

- ・自己チェックシートやGW（グループワーク）

虐待防止、KYT（危険予知トレーニング）、ストレスチェック

- ・外部講師を招いての研修

認知症サポーター、成年後見人制度について

- ・各種委員会による検討会議

(2) 園外研修

- ・徳島県社会福祉協議会、徳島県知的障害者福祉協会及び近隣施設や県外などの各種機関が主催する研修会への積極的参加

- ・他施設の見学

2. 施設実習

- (1) ボランティア体験実習

- (2) 四国大学保育・音楽実習

- (3) 文理大学保育

- (4) 上板中学校体験実習

IV 短期入所事業利用者に対する支援と活動

短期入所事業について、日中生活介護を利用されている方の保護者が、家庭等の事情により夜間介護等が行えないため利用できるような体制を整え、サービス提供を行いました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用件数・人数	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	4	0	10
利用実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3
利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	4	0	10

V 地域生活支援事業（日中一時支援事業）

支援実施市町村と業務契約を結び、日中一時支援事業を行いました。

日中生活介護を利用されている方の家族等の特別な事情や、一時的に介護等が行えない場合などの際に平日の時間延長としての利用や休日に一時的に利用するなどのサービス提供を行いました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用件数・人数	4	5	5	5	5	5	6	7	2	1	4	1	50
利用実人数	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
利用日数	2.0	2.5	2.25	2.25	2.5	2.5	2.5	3.0	1.0	0.5	2.0	0.5	23.5

「しあわせの里地域交流センター」の事業概要

「しあわせの里地域交流センター」は、利用者の方の日中活動や様々な行事、定期実施している運動教室や文化活動に利用し、利用者の方と地域の方々との交流の場として活用されています。

地域の方々には、自治会の行事やサークル活動の場として利用していただき、施設の持つ機能を提供することで、地域社会に貢献しています。

1. 利用の状況

利用区分	延べ利用件数	延べ利用人員	主な利用内容
保護者活動	10件	314人	家族会
地域活動	42	430	カローリングクラブ練習 地域の団体主催行事等
交流活動	10	120	いきいき運動教室
社会参加	10	70	みんなの健康エクササイズ
各種研修	5	26	文理大学施設実習 四国大学施設実習 福祉体験実習 ミュージック・ケア研究会
各種会議	6	41	役員会等
合計	83	1,001	

2. 広報活動

しあわせの里が発行している機関紙「しあわせ」に利用状況を掲載し、地域交流センターの活用内容について報告しました。